※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０２

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	詳述世界史　（山川出版社）						
副教材等	アカデミア世界史（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の様々な社会課題には、必ずその課題が生まれるに至った歴史がある。世界史探究では、世界各地の文明の誕生から近現代に至る歴史・社会の変遷をたどり人類の歩みを振り返りながら、現代の様々な課題の歴史的背景を探る。史・資料の読み取りや考察、議論を通して、「社会的事象の歴史的な見方・考え方」を身につける。この見方・考え方は、１年次の地理総合、２年次の歴史総合の学習を基礎として、それを発展的に継承し、基礎的に知識を身につけるだけでなく、さらには課題探究にまでいたるものである。

また、日本の歴史と世界の歴史を分断することなく、その相互関連性に着目して学習を進めることも、歴史総合から継続して学習する世界史探究の大きなテーマの一つとなる。

2　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開について、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力と国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○世界の歴史についての基本的な知識を身に付け、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ○世界の歴史についての史・資料を収集し，有用な情報を適切に選択し、まとめることができる。	○世界各地各時代の歴史から、それぞれの時代・地域の諸課題を見いだし，それをどう克服し、あるいは積み残しながら、現代にいたる瀬化が形成されてきたか、歴史的視野に立って、社会を多面的・多角的に考察する。 ○その諸課題について，日本の歴史と関連付けながら，歴史的変化を踏まえて多面的・多角的に判断し、表現できる。	○世界の歴史に対する関心を高め，歴史上の諸課題について問題意識を持って意欲的に追究する。 ○国際社会の一員として現代の諸課題に主体的に関わろうとする態度を身に付ける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	諸地域の歴史的特質の形成	・ 文明の成立と古代文明の特質 ・ 中央ユーラシアと東アジア世界 ・ 南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・ 西アジアと地中海周辺の国家形成 ・ イスラーム教とヨーロッパ世界の形成	a：・西アジア世界の地理的特質，オリエント世界の展開，イラン人王朝の活動とその文明の特徴を理解する。地中海一帯の地理的特質，ポリス世界の特色、ローマの帝国化の過程やローマ法，皇帝理念，キリスト教などについて把握し，基本的な知識を身につけている。・中国文明，殷・周時代と春秋・戦国時代の社会変動や新思想の形成を理解し，秦・漢帝国の意義や世界との繋がりを理解し，その基本的な知識を身につけている。・匈奴を代表とする騎馬遊牧民と秦・漢帝国のオアシス都市の覇権をめぐる抗争に関する基本的な知識、遊牧民の華北進出と定住化，均田制などの新しい制度のしくみを理解し，中国分裂期の基本的な知識を身につけている。・律令制度や文化の理解に加え，唐王朝が東アジア世界と内陸アジア世界を含む政治的秩序を形成したことを把握し，日本や新羅などの国家体制の整備に関する基本的な知識を身につけている。 ・インダス文明の特色とアーリヤ人・非アーリヤ人の王朝の展開を理解し，ヒンドゥー教とカースト制の特徴，南アジアにおける仏教衰退の理由を把握し，その基本的な知識を身につけている。 ・東南アジア諸民族がインド・中国文明の影響を受けながら，独自の発展をしていったことを理解している。	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※令和４年度以降入学生用

			・イスラームの特質、その形成過程、カリフによる征服活動や，イスラーム法に基づくアッバース朝の国家体制に関する基本的な知識を身につけている ・教科書に掲載されている地勢図や歴史地図，図版を適切に活用している。 b：身に着けた知識・技能に基づいて、各時代の資料や文物の歴史的意義を考察し、表現できる。様々な事件の原因やその事件の結果や影響について考察し、表現できる。 c：各地域に生まれた文明とその特徴を、関心を持って学習しようとしている。 ・各地域に生まれた特色ある思想や宗教について内在的論理に基づいて理解しようとしている。また、今日的視点から客観的に学習しようとしている。 ・さまざまな出来事の因果関係を、関心を持って学習しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

	諸地域の交流再編	・ イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ・ ヨーロッパ世界の変容と展開 ・ 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・ 大交易・大交流の時代 ・ アジア諸帝国の繁栄 ・ 近世ヨーロッパ世界の動向	a:・諸地域世界のイスラーム化の過程，ムスリム商人や神秘主義教団の果たした役割に関する基本的な知識を身につけている。 ・ゲルマン人やノルマン人などの諸民族の移動・進入による西ヨーロッパ世界の形成と発展、ビザンツ帝国やスラヴ人諸国家によって形成された，東ヨーロッパに関して，基本的な知識を身につけている。 ・西ヨーロッパ封建社会の変容，都市と商業の発展，諸国の国王による中央集権化の過程に関する基本的な知識、中世文化に関する基本的な知識を身につけている。 ・トルコ系遊牧民が広く内陸アジアに定住し，イスラーム化していったことに、宋の中央集権的統治体制、社会経済の発展や文化の特色に関して，基本的な知識を身につけている。 ・モンゴル帝国のユーラシア支配の過程と，その特色、モンゴル人が築き上げたネットワークと，14 世紀以降，その再編・解体がもたらした諸地域世界への影響に関する基本的な知識を身につけている。 ・明清の中国統治、隣接諸地域の動向に関する基本的な知識を身につけている。 ・オスマン帝国、ムガル帝国、サファヴィー朝の安定した統治システムに関する基本的な知識を身につけている。 ・大航海時代の探検・アメリ	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※令和４年度以降入学生用

			カ先住民社会の変容、ルネサンスの意義、宗教改革に関する基本的な知識を身につけている。 ・ヨーロッパ諸国が主権国家体制を確立の過程、イギリス，フランス，プロイセン、ロシアなど，17～18 世紀におけるヨーロッパ諸国の動向に関する基本的な知識を身につけている。 ・大西洋世界に近代分業システムが成立したことに関して，基本的な知識を身につけている。 ・科学革命や国際法，啓蒙思想，近世芸術と，その背景に関して基本的な知識を身につけている。 b：身に着けた知識・技能に基づいて、各時代の資料や文物の歴史的意義を考察し、表現できる。様々な事件の原因やその事件の結果や影響について考察し、表現できる。 c：・イスラーム世界の分裂と変容の過程について，関心を持って学習しようとしている。・ムスリム商人が築いた海域・内陸のネットワーク，インドや東南アジア，アフリカのイスラーム化とその地域に与えた影響について，意欲的に学習しようとしている。 ・カールの戴冠の意義，ノルマン人などの諸民族進入の影響について，関心を持って学習しようとしている。・ビザンツ帝国の特色とスラヴ人など周辺民族の活動を意欲的に学習しようとしてい			

※令和４年度以降入学生用

			る。 ・西ヨーロッパ封建社会の変容過程, 西ヨーロッパ諸国の政治・社会の動向について, 関心を持って学習しようとしている。 ・中世文化の特色とキリスト教会の役割について関心を持って学習しようとしている。 ・トルコ人のイスラーム化、中国周辺諸国の変化, 宋代の産業や文化の発展について関心を持って学習しようとしている。 ・モンゴル帝国のネットワークとその影響について, 関心を持って学習しようとしている。 ・明清の経済的繁栄と銀経済の進展, 科学技術への関心を特色とする文化活動について, 関心を持って学習しようとしている。 ・オスマン帝国, サファヴィー朝、ムガル朝、イスラームの東南アジアへの浸透やヨーロッパ勢力の進出について, 関心を持って学習しようとしている。 ・新航路の開拓、ルネサンスの背景と影響, 芸術作品に関して, 意欲的に学習しようとしている。 ・宗教改革の背景と影響, 国家による差異に関して, 意欲的に学習しようとしている。 ・ヨーロッパ諸国が主権国家として競合しながら国際秩序を形成していった過程,			

※令和４年度以降入学生用

			イギリス革命やフランスを中心とした国家間の抗争, 東ヨーロッパ諸国の台頭を, 関心を持って学習しようとしている。 ・三角貿易のもたらした国際的な社会･経済の変化について, 関心を持って学習しようとしている。 ・科学革命と啓蒙思想、ヨーロッパの文芸思潮について, 関心を持って学習しようとしている。 ・モンゴル帝国、近代世界システムとの界の一体化の違いを、関心を持って学習しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

後期	諸地域の結合・変容	・ 産業革命と環太平洋革命 ・ イギリスの優位と欧米国国家の形成 ・ アジア諸地域の動揺 ・ 帝国主義とアジアの民族運動 ・ 第一次世界大戦と世界の変容 ・ 第二次世界大戦と新しい国際秩序	a：産業革命，資本主義体制が世界市場に与えた影響などに関する基本的な知識を身につけている。 ・アメリカ独立戦争の経過と合衆国憲法の特徴、フランス革命がおこった社会構造，革命の進展過程、皇帝ナポレオン誕生の背景やその大陸支配の経過に関する基本的な知識を身につけている。 ・ウィーン体制を崩壊させたヨーロッパ諸国の自由主義や民主主義的な政治改革の動向に関する基本的な知識を身につけている。 ・ロシアの近代的改革，19C のイギリスの繁栄，フランス第二帝政とその崩壊，イタリア・ドイツの統一といった，ヨーロッパ諸国の国民国家形成期の基本的な知識を身につけている。 ・ラテンアメリカの独立の経過，アメリカ合衆国の西部への領土拡張や，南北戦争以後，世界一の工業国として発展したことに関する基本的な知識を身につけている。 ・オスマン帝国の改革の挫折，アラブの民族運動などに関する基本的な知識を身につけている。 ・イギリスによるインドの植民地化と大反乱，ヨーロッパ諸国の東南アジアの分植民地、アヘン戦争以後の清の動揺，近代化への動きに関して，基本的な知識を身につけている。 ・日本の近代化、朝鮮・清・ロ	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※令和４年度以降入学生用

			シアをはじめとする列強との関係に関する基本的な知識を身につけている。 ・欧米列強の植民地獲得競争に関する基本的な知識を身につけている。 ・中国分割の危機と辛亥革命，インド，東南アジア，西アジアにおける民族運動の形成に関する基本的な知識を身につけている。 ・第一次世界大戦の性格，経過と影響、ロシア革命とソ連邦の成立過程に関する基本的な知識、ヴェルサイユ体制の問題点と，アメリカの繁栄，ソ連邦の社会主義建設など欧米諸国の動向に関して，基本的な知識を身につけている。 ・中国、インドの民族運動，トルコ革命など，アジア諸地域で展開された大衆的な基盤を持つ民族運動に関する基本的な知識を身につけている。 ・世界恐慌の影響ファシズム諸国の攻勢やソ連邦の動向に関する基本的な知識を身につけている。 ・第二次世界大戦に関する基本的な知識を身につけている。 b：身に着けた知識・技能に基づいて、各時代の資料や文物の歴史的意義を考察し、表現できる。様々な事件の原因やその事件の結果や影響について考察し、表現できる。 c：産業革命がイギリスで立ち上がった要因、産業革命が引き起こした様々な変化に対して、関心を持って学習しよ			

※令和４年度以降入学生用

			うとしている。 ・世界が一体化する中で、中核地域、辺境地域がどのように生まれ、各地域でどのような対応がなされたか、内在的論理に基づいて理解しようとしている。また、今日的視点から客観的に学習しようとしている。 ・世界を覆った資本主義経済、帝国主義政策をとる列強の動き、世界恐慌とロシア革命の関係を大きな流れとしてとらえようとしている。 ・二度の世界大戦であらわられた様々な事象を、現代に続く問題として積極的に学ぼうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

	地球世界の課題	・　冷戦と第三世界の台頭 ・　冷戦の終結と今日の世界	a･国際連合を柱とした戦後の世界秩序の形成，ヨーロッパの東西分断と冷戦体制の確立，アジア諸地域の独立に関する基本的な知識を身につけている。 ･朝鮮戦争後の「雪どけ」と平和共存への試みに関する基本的な知識を身につけている。 ・アメリカに続く西欧や日本の復興と経済成長に関する基本的な知識を身につけている。 ・アジア＝アフリカ会議や非同盟諸国会議などにみられる，第三世界の連帯の動きに関する基本的な知識を身につけている。 ・キューバ危機やベトナム戦争，中ソ対立やソ連の東欧諸国に対する介入，西ドイツの東方外交による緊張緩和の進展などに関する基本的な知識を身につけている。 ・オイル＝ショックなど戦後政治の転換期の動向や冷戦終結への取り組みに関する基本的な知識を身につけている。 ・東欧社会主義諸国の改革，ソ連邦の解体過程，ＥＵやＮＡＦＴＡなど先進経済地域の統合化の動きに関する基本的な知識を身につけている。 ・ラテンアメリカやアジアの途上国で進展した民主化の過程と，アジア社会主義諸国の経済開放政策やその変容に関する基本的な知識を身につけている。 ・東欧やロシア，中東からアジアにかけて多発する地域紛	・考査 ・小テスト	・考査 ・小テスト ・レポート ・発表	・ワークシート ・レポート ・感想 ・発表

※令和４年度以降入学生用

			争，アフリカの民主化と貧困問題，対テロ戦争と紛争解決や軍縮の試みに関する基本的な知識を身につけている。 ｂ：身に着けた知識・技能に基づいて、各地域や出来事の資料や文物の歴史的意義を考察し、表現できる。様々な事件の原因やその事件の結果や影響について考察し、表現できる。 ｃ：戦後に生じた様々な世界の事件を積極的に学ぼうとしている。また、それらの出来事を世界史全体の流れの中で位置づけて理解しようとしている。まだ評価の定まっていない現代の様々な事象についても、その意味を自分なりに考えようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度